

<タイプ1>

・人生は本と同じであり、流し読みするのではなく、何度も読みながら進むと聞き、色々な事にチャレンジしたいと思いました。

・トランプ氏についてもっと知りたいと思った。

・与謝野晶子さんの名言は冒頭しか聞いたことや見たことがなかったが、すべての名言が聞けて勉強になった。偉人たちの内容まで触れる機会がなかったので、この授業は深く知ることができて勉強になる。

・与謝野晶子さんは凄い女性だと思った。今日の講義はすごく有意義だった。

・樋口一葉、印象に残った。

・与謝野晶子さんは若い頃から全力疾走で駆け抜ける姿は格好いいと思う。

・曾野綾子さんの「人にはできることと、できないことがある。」という言葉で、できないことに関する理由も言っていて非常に感銘した。

・与謝野晶子さんは13人の子供をもうけている。大変。

・樋口一葉はすごい。24歳で偉いことたくさんした。尊敬する。

・与謝野晶子の生き方に驚いた。

・先生が選ぶ人が凄い人だらけなので勉強になる。レポートする人が決まった。

・久恒先生が特別講座について話してくれるのでとても嬉しい。以前向田邦子さんのエッセイを見たことがありとても感動した。

・与謝野晶子は、男尊女卑がひどかった時代に女性としての主張をした人なので印象に残った。

・白洲正子の巡礼から、自己を発見するなら旅に出よと言うことなのかと思った。

・樋口一葉が一番印象的だった。もし長生きしていればもっと数多くの名作を生み出していたかもしれないと思った。

・与謝野晶子は紫式部のおよそ3倍以上詩を書いていた。「積み重ね」与謝野晶子のみだれ髪にとても感動した。

・一葉日記を読むと、小説に生きているなあと感じられた。樋口一葉の本を読もうと思った。

<タイプ2>

・私が心を動かされたのは、樋口一葉さんの生き方で、普通の人では思い付かないような心を持って生きていきたいと感じた。

・詩人は感受性が豊かで言葉のレパートリー数がとてつもなく多いので、細かいところまで言葉で表現できる。緒方さんの「熱い心と冷たい頭を持て」という言葉が心に残った。

・特に気になったのは、親友のために「くまのプーさん」を翻訳した石井桃子さん。

・とても感性が豊かで、たくさん読書をしたかったと思った。

<タイプ3>

・偉人の母親も偉人。母親の育て方、教育で偉人になる素質が育ったという話が心に残った。与謝野晶子が毎年出産していたなんて、家事はどうしていたんだろう。

・与謝野晶子さんが凄い。エネルギーに、とても尊敬をした。

・樋口一葉の人生が自分にとって一番しっくりきたと感じた。

・当時の女性の立場や男尊女卑を彷彿させるものが多く感じます。それ故に、人の感情や想いがより伝わってきます。

・白洲正子さんの的を射た名言が心にグツときた。

・緒方貞子さんが印象に残った。様々な人と接し続けて問題を解決する姿勢にこれからの自分の生き方に影響するものを感じた。毎回色々なジャンルの人が紹介されて講義が楽しい。

・与謝野晶子はとても強い人だと感じた。

・講義を聞いて、男性より女性の方が強いと感じた。

・樋口一葉は、母親の「女が学問を身に付けるのは好ましくない」という意見で進学を諦めていて驚いた。

・向田邦子の人生に感銘を受けた。

・与謝野晶子のマネはできないなと思った。自分の考え方をええられた気がした。

<タイプ4>

・女性が学問を身につける事は好ましくなかった事に驚いた。

・樋口一葉など女性の生き様に感服した。

・与謝野晶子がたくさん出産したことに驚いた。

・白洲正子の韋駄天お正の結婚は聞いていて色々面白いと感じた。

・創作の秘密は習慣にある。この言葉は好きだ。聞けて知れて良かった。与謝野晶子の人生に特に感銘を受けた。

・茨木のり子「自分の感受性くらい」の詩がとても刺さった。何もかも自分の積み重ねで何事も自分の感受性次第、と、少し考えようと思った。

・今日の邦子「男の鑑賞法千十文字美信」向田邦子、長い間にわたり作曲をしてきた彼女の仕事量に比例して、数々の名曲を生み出していた。

・樋口一葉さんは諦めず、図書館で勉強し続けるのはすごく感心した。

・与謝野晶子の人生が恐ろしい人生だなと思った。常にエネルギーを使い、家計のために全てを回しきる力がとんでもないなと思った。この人にしようと思った。

・樋口一葉はあこがれの人。小説好きの私であるが、今度は、偉人が残した小説にも手を出してみると面白いかもしれない。

・自分は茨木のり子と与謝野晶子の生き方に驚いた。あまり女性の偉人を知らなかったが、この講義のおかげで良く分かった。

・草間さん、70年も同じ仕事をし続けるのは並大抵のことではないと思う。

<タイプ5>

・樋口一葉の「このような時代に生まれた者として、何もしないで一生を終えて良いのでしょうか。何をなすべきかを考え、その道をひたすら進んでいくだけです」という言葉に心打たれた。

・色々な名言を自分でも調べるようになりました。ディズニーキャラクター（プーさん）の名言で共感できるものが多くあった。緒方貞子が気になった。

・緒方貞子さんの“熱い心と、冷たい頭を持て”という名言は素晴らしいと思った。尊敬する人を早く見つけようと思う。

・白洲正子さんの考えが凄い。「時代に媚びない。時代を染め抜く」というのがすごい。

・緒方貞子さんの名言は、若者に対しての助言が多かったと感じた。

・偉人の女性たちには男とは違う気高さを感じた。

・樋口さんの人生に感銘を受けた。

・最も惹かれたのは、茨木のり子の「わたしが一番きれいだったとき」である。彼女の生活感溢れる生々しい言葉たちに心動かされた。工場、海、栗色の手足、青空、ブラウス、ラジオ、国、戦争。知っている言葉でも文章の表現だけで何故だか感傷的になってしまうのは不思議である。

・与謝野晶子さんの大変な生活の中で良い作品を作っていく厳しさは、自分の想像の遙か上のものだと思う。

・偉人の条件として母が主な要因と言っていたのがその通りだと私も思った。

・多くの偉人はどうして若くして死んでしまうのだろうと思った。彼女らが長く生きていたら日本は変わっていたのかなと思った。一葉日記、面白いと思った。

・与謝野晶子さんの女性の強さに心打たれた。

・毎年妊娠してすごく大変な人生を歩んでいたと思う。

・樋口一葉。女性の立場に臆することなく行動した事がすごいと思った。

・坂本龍馬の考え方はとても理にかなっている。トランプ氏は賢い人だと思う。彼の素性が分からないためエニアグラムのタイプが分からない。樋口一葉、与謝野晶子らの活躍により、女性の権利が認められるきっかけになったのではないかと思う。白洲次郎はNHKのドラマで初めて知ったが、予告を見たときGHQのマッカーサーに異を唱えた彼は男の中の男だと思った。

・樋口一葉の詩に感銘を受けた。

・昔の女性は芯があり、心が強いと感じた。

・名言を残す人は一つだけではなく何個も持っている。それだけ能力考える力がある。

<タイプ6>

・特別講義の話が聞いていて非常にまとまった結論を聞いて分かりやすかった。

・樋口一葉の話が一番心に残った。たったの24歳しか生きていないと言うことを初めて知った。

・与謝野晶子が11回出産しているのは知らなかった。

・リレー講座を受けたい。

・多摩祭実行委員として今年度の学園祭について褒めて頂いてありがとうございました。

・緒方貞子の「忍耐と哲学をかければ物事は動いていく」心に残った。曾野綾子の「全ての出来事はさせられるから辛くなるので、してみようと思うと楽しくなる」私は手塚治虫をレポートに設定した。

・緒方貞子は難民を解決して様々なことを救った人だと思った。女性偉人はとてもすごい経験をしていると思った。

・緒方貞子の名言が印象深かった。「忍耐と哲学をかければ物事は動いていく」

・与謝野晶子の生涯にとっても関心を持った。

・与謝野晶子の生きるエネルギーの使い方に驚いた。

・画像を見て、切なくなるといった。

<タイプ7>

・国内だけでなく国外の女性の偉人のエニアグラムと考え方や生涯を知りたい。

・与謝野晶子の人生はすばらしいと思った。

・与謝野晶子が13人の子供を出産しているのは驚きだが、そのまま創作活動を続けたという点が一番の注目ポイントだった。

・創作は習慣である。という言葉を残した人に何かを感じた。実際にそうだと思う。

・一葉日記の存在を知ったが、紫式部をライバルとして見ている様はとても面白い人だと思った。

・ジャンパウルの人生は、一冊の書物に似ているという言葉の意味には大変関心を得た。

・沢山子供を産みつつの仕事は冒険家に違いない。

<タイプ8>

・樋口一葉の男女の考え方は共感できる。吉田沙保里にしようと思う。星新一、モハメド・アリも良いと思う。

・女性の偉人は男性に比べて様々な面でハンデがあるのでとても調べる面で役に立つと思う。私は昔からキング牧師が好き。

・熱い心と冷たい頭を持て、という言葉が印象に残った。

・曾野綾子の人生が参考になった。

<タイプ9>

・お金より評判が大切という言葉があったが、評判を上げるのは最も難しいことだと思った。与謝野晶子は子供を13人も育てて驚いた。緒方貞子の「最後は理論ではなく一瞬のカンです」が良かった。
 ・女性でこれだけ名前が知られていて凄いと思った。
 ・樋口一葉に興味を持った。
 ・緒方貞子が印象に残っている。
 ・石井桃子は30歳から100歳までの70年間に絶え間なく本を出し続けていた。編集、翻訳、創作した本は生涯で300冊ほどになる。都々逸が好きなので最後に有名な都々逸の動画を見られ興味深かった。
 ・緒方貞子さんの国の内外を問わず、自分で歩いてみることを若い世代に進める、ことが響いた。
 ・与謝野晶子、樋口一葉は素晴らしい深い人生を歩んでいると思った。先生が用意してくれた資料は分かりやすくもっと知ってみたいと感じた。
 ・一葉日記の「世の中というものは本当に分からないところですから、ただ見た目や噂だけでは信用なりません」という一言にとっても共感できた。
 ・緒方貞子さんの日本の若い人やどんな世代の人々に「何でもやってみせる」という姿勢でいてほしい。という名言を見て、自分も何でもやる勢いで人生を生き抜かなくては、日本のため、世の中のためになれないと思った。
 ・トランプ氏は良い人だと思う。少なくとも経済は良くなる。
 ・草間彌生さんに魅入っている。独特な世界を持ち、不思議な魅力を持つ彼女を尊敬している。
 ・すごい仕事をこなすことで言葉に重みが生まれたと思う。私も少しでも多くのことにチャレンジしたいと思う。実績でみると緒方貞子だが、与謝野晶子が一番凄いと思った。このような人がいることで、活力が生まれ、日本が良くなると良いと思った。

<タイプ?>

・今回の講義は分かりやすく、映像や説明だったので良かった。
 ・「万事見にゃ分かん。勉強だけではなくしっかりと見ないと分からない」
 今回の講義で良いと思ったのは茨木のり子さん。「わたしが一番きれいだったとき」という詩は戦争前の時だが、戦争後でも心を保ち詩を書くと言うことが出来、歳月をかけて自分を鍛え、磨き抜いてきたということに感動した。
 ・茨木のり子の「自分の感受性くらい」という詩は、いわさきちひろのイラストと一緒に何かの詩集で見た記憶があった。この詩を見た時のハッとさせられた気持ちを思いだした。同じ女性として、女性が社会進出するには難しい時代に活躍した、この人たちのパワーが凄いと思った。仕事量の多さを知り、それについても驚いた。
 ・松田聖子は「流行」を作りだした女性だと思う。
 ・与謝野晶子はとても考えさせられた。最初から良い環境ではなく厳しい環境で様々な問題がありながら、ここまで有名になり、偉人となったから。
 ・高杉晋作にしようと思った。
 ・「人生は一冊の書物に似ている。」一つ一つをパラパラと適当に過ごしても何にもならない。与謝野晶子、「気むずかしい父の機嫌をとり、一家の経済を1人の肩に背負っていた」と書いてある。この人が男性で、育児も家事も今より手軽だったら、もっとすごい功績を残していただろうと思う。
 ・「最後は理論ではない。一瞬のカンです」緒方貞子。興味を持った。書いていきたいと思った。
 ・向田邦子。男性は目が細い方がよい。女性は目が大きい方がよい。面白い。与謝野晶子、この時代の女性が行動するのも難しいとされた時代なのに、女性の社会進出の第一人者だと思った。

・与謝野晶子の名言が好きだったので、講義で話を聞けて良かった。
 ・偉人たちの根底にある思いというものは似ているように感じた。自分の向上心という物を作り出すためのエネルギー源を見つけていきたい。
 ・石井桃子が作った本を見ていない人はいないだろうと分かった。
 ・日本の偉人達は凄いと思った。与謝野晶子さんの名言が一番良かった。
 ・石井桃子さんに感動を受けた。
 ・緒方貞子さんが良いと思った。日本のトップの人たちと会い、たくさん学び難民と接していく姿が格好いいと思った。
 ・与謝野晶子の詩は愛情を表現したものが多い。
 ・与謝野晶子の「君死にたまふことなかれ」はすごく有名だが、改めて読むとすごく悲しい気持ちになった。女性に勉強をさせない、しなくてよいという話を聞いて、非常にひどいと感じた。
 ・与謝野晶子は、どこからそんなエネルギーがわいてくるのか、疑問に思った。
 ・白洲正子さんの仕事に一直線な人生がすごいと感じた。白洲次郎さんもダンディの見本として有名な肩で、一つのことを極めるとそれはやがて「芸術」と言えるほどの才能へと変化してゆくのだなと感じた。
 ・高校の時の古典の授業を思い出した。
 ・昔のプロの人達は、文字通り限界までその意欲を高めていたと思う。温故知新な授業だった。
 ・与謝野晶子のエネルギーに興味があった。
 ・与謝野晶子の強い生き様に心打たれた。
 ・与謝野晶子の出産の数と向上心に興味を持った。
 ・強い女性は、母親も強いは、納得できた。
 ・曾野綾子さんの名言が響いた。「人間にとって成熟とは何か」というタイトルに考えさせられた。「自分のしたい事をして他人のせいにはしないこと」が最も感動した。
 ・女性でもの凄い仕事量をする人は、これからも増えると思う。
 ・与謝野晶子さんに一番刺激を受けた。24歳から41歳まで常に妊娠状態だった。その中で多くの仕事、業績を成し遂げて、素晴らしいと感じた。